令和7年度 PTA 定期総会

2025年4月26日
野田市立山崎小学校 PTA 本部作成

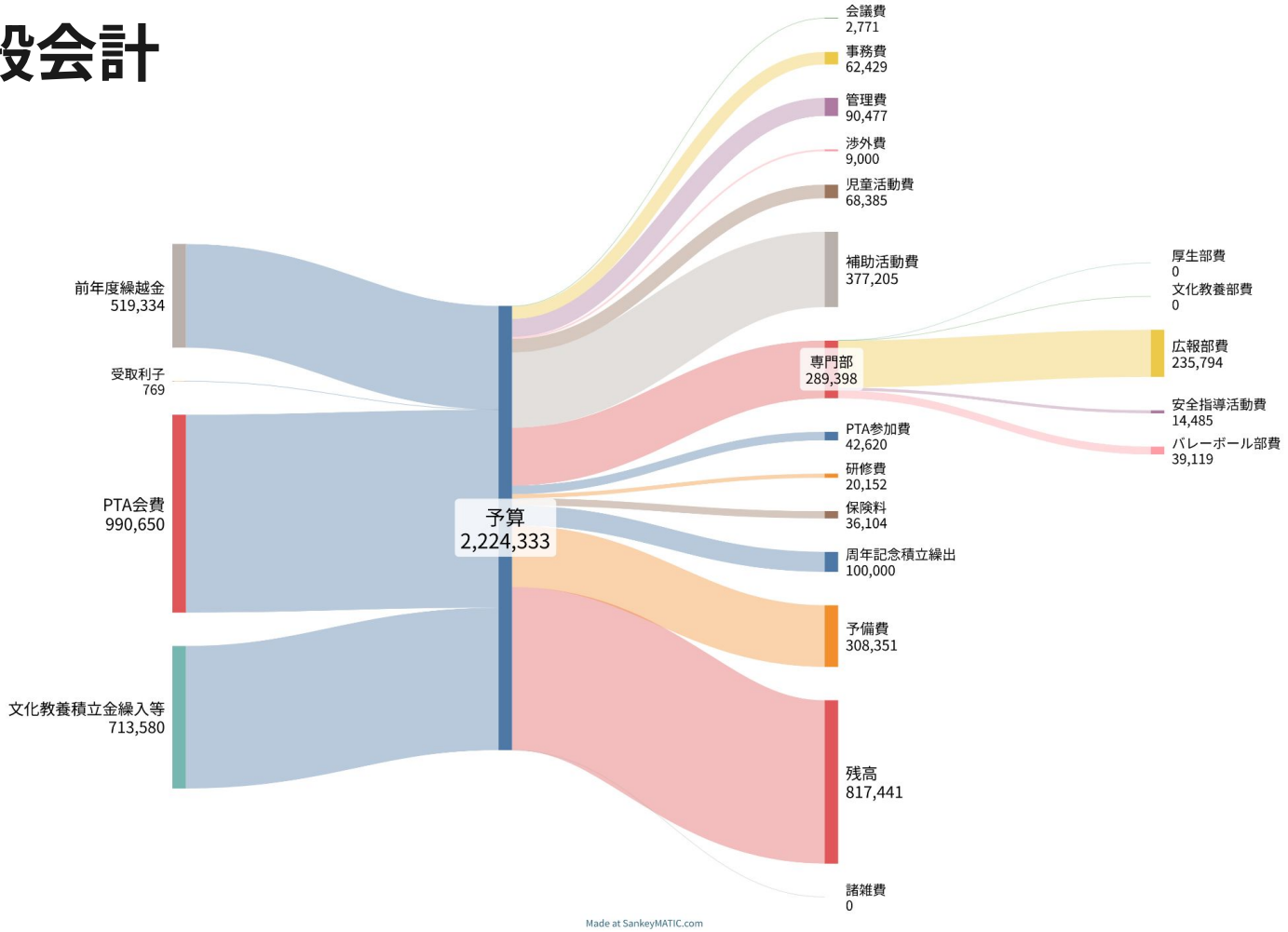
令和7年度 PTA総会審議結果

PTA 会員数と各議案の審議結果

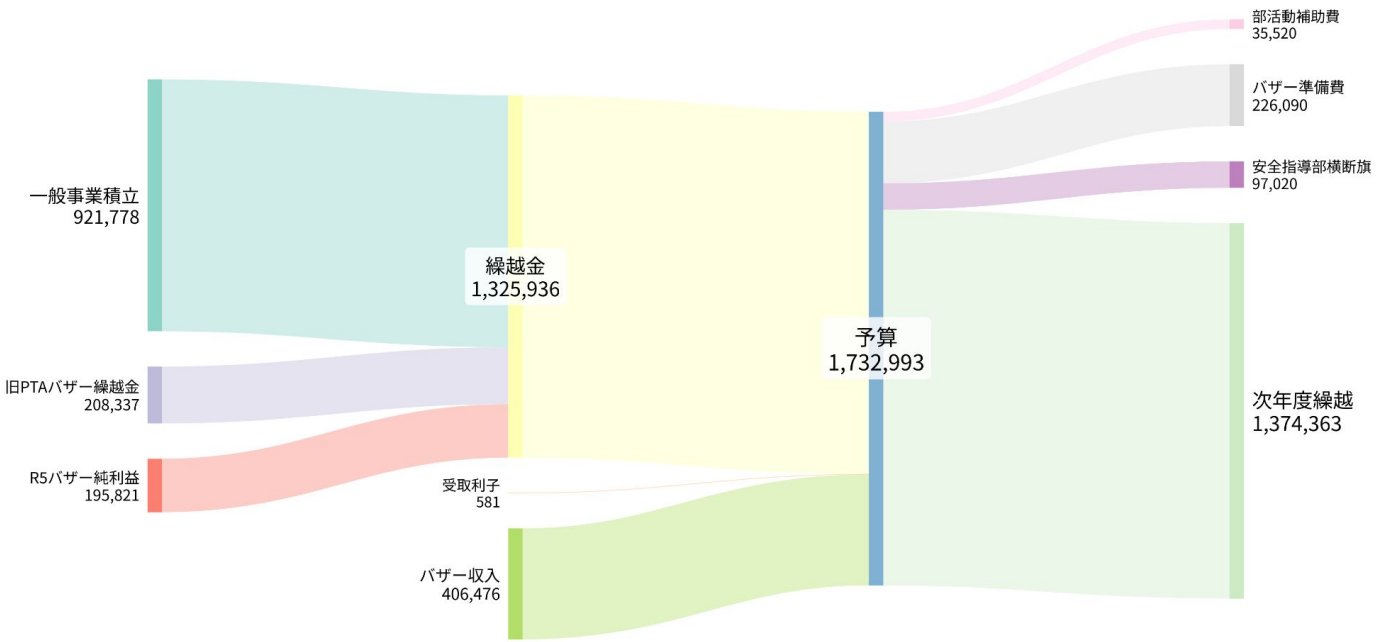
PTA 会員数: 268
令和7年4月現在

議案	賛成数	反対数
議案1 令和6年度 事業報告	268	0
議案2 令和6年度 一般会計ならびに特別会計 決算報告	267	1
議案3 令和7年度 活動計画	268	0
議案4 令和7年度 一般会計予算	267	1
議案5 令和7年度 本部役員	268	0
議案6 PTA会則の改正	268	0
議案7 サークル活動に関する取り決め	267	1

一般会計


前年度繰越金
519,334
受取利子
769
PTA会費
990,650
文化教養積立金繰入等
713,580
予算
2,224,333
会議費
2,771
事務費
62,429
管理費
90,477
渉外費
9,000
児童活動費
68,385
補助活動費
377,205
専門部
289,398
PTA参加費
42,620
研修費
20,152
保険料
36,104
周年記念積立繰出
100,000
予備費
308,351
残高
817,441
諸雑費
0
厚生部費
0
文化教養部費
0
広報部費
235,794
安全指導活動費
14,485
バレーボール部費
39,119
Made at SankeyMATIC.com

特別会計



Made at SankeyMATIC.com

意見・質問①

「議案2 令和6年度 一般会計ならびに特別会計 決算報告」について

事務費のTシャツは何のため？まさかPTAだけが着ているTシャツのことじゃないですよね？詳細が不明のため説明してください。

事務費に計上している「Tシャツ」は PTA 本部およびイベントのときに関係者が着るTシャツのことです。使用実績としてバレーボール大会の応援、山小フェス・バザー、もちつき体験会があります。

会計報告に記載しているTシャツ購入費用は PTA にて保管し、使用するときに貸し出していますが、一部のメンバーは実費で購入しています。購入分については PTA 予算を使用していません。

Tシャツは、イベント時に関係者であることを識別することのほか、一体感を形成し、保護者も楽しむことにつながっています。

意見・質問 ②

「議案2 令和6年度 一般会計ならびに特別会計 決算報告」について

自主学習ノートをなぜPTAが購入したのか理解できない。いつ、どのようにして自主学習ノートのためにPTA会費を使うに至ったのか、経緯を説明してください。

自主学習ノートは、令和5年度に着任した石井前校長によって始められた取り組みです。石井前校長は、子どもたちが「自ら学ぼうとする姿勢」を育むこと、そしてその努力を周囲が評価し、承認することで満たされる自己承認欲求の重要性に着目されていました。

事実として山崎小の学力は2年間の取り組みだけでも全国平均を上回る結果が出たと報告されています。

一方で、公平 (希望すれば誰でも自由にノートを使える) ながらも平等 (全児童に同じ冊数を配布する) ではない実情、加えて、PTA 会費によって物品の提供をすることの是非は依然として課題だと考えています。

意見・質問 ③

「議案2 令和6年度 一般会計ならびに特別会計 決算報告」について

部活動補助費がすべての部活動に対して平等と思えない（一部の活動に対してのみ使用されているように感じる）もう少し平等に使用されるよう改善すべきです。

山崎小には陸上部・自転車部・吹奏楽部の3つがあります。

これまで部活動補助費は予算化されておらず、突発的に特別会計から支出していました。しかし、今年度からは、各部活に対して一律同額の部活動補助費を予算化します。

補足的な説明となりますが、令和6年度は吹奏楽部に関する支出はなく、そして吹奏楽部では所属児童の保護者から12,000円/年の部費を集めています。

意見・質問 ④

「議案3 令和 7 年度 一般会計予算」について

児童活動費の自主学習ノートは、どのような目的で何のために購入するのか説明してください。"自主"学習なのに、強制になっていませんか？PTA会費を使うべきでないです。

意見・質問 ② で回答したとおり、子どもたちが「自ら学ぼうとする姿勢」を育むこと、そしてその努力を周囲が評価し、承認することで満たされる自己承認欲求の重要性に着目した取り組みで、結果的に児童の学力向上につなげる目的があります。

自主学習ノートを使用した自主学習をするか否かは各児童によって差があるもので、PTA および学校で強制はしていません。

PTA 会費の使途妥当性と透明性の問題はすでに PTA 会長として市P連へ提言し、今後は野田市長へも要望書を提出することを進めています。総合的に解決していきたい課題と捉えています。

意見・質問⑤

「議案3 令和７年度 一般会計予算」について

広報部の印刷代、ムダです。このご時世で紙印刷発行とか、時代錯誤も甚だしい。

令和6年度は、活動の縮小やスリム化、デジタル推進を進めてきましたが、広報誌発行に関する改善は未着手の状態です。今年度は次の2つの改善を行い、予算の削減を図ります。

- 業者による誌面デザインをやめる
- 印刷業者選定を行い印刷費用を削減する

広報部は広報誌を作成することが主な活動でした。しかし、誰もがスマホを手にする現代においてはインターネットを活用した広報活動に切り替えていくなど、柔軟性をもって取り組んでいきたいと考えています。

意見・質問⑥

「議案7 サークル活動に関する取り決め」について

PTA会員が自主的に行う活動をサークルというみたいですが、活動内容を報告するのみですか？活動内容を精査して、継続の必要性を判断しないのですか？

活動内容は精査します。

「子どもたち、保護者、学校、地域をゆるやかにつなぐ活動を後押しすることを目的」と明記しており、サークルは申請後の承認を受けて初めて成立します。申請段階で、サークルの目的が趣旨に沿わないものであれば内容の調整を相談したり、非承認としたりすることもあります。

PTA 組織の中のルールとして運用している以上は定期報告は必須とし、割り当てた予算の使途も明確にします。活動内容と合わせて、合理的な継続判断をしていきます。

意見・質問⑦

その他

時代にあった活動をしてほしいです。今は令和、昭和でも平成でもない。共働きが当たり前、みんな時間・余裕がない。だから、できる人ができる時にやればいい。必要に応じて外部委託も検討すべきです。

ご意見には全面的に同意いたします。

私 (常盤) が会長に就任した令和6年度は、あらゆる活動の把握から始まり、それらの要否判断や改善の模索および実施を行ってきました。

私が掲げている PTA のビジョンは「**令和のPTA**」です。別ページに私が取り組んできたことや、目指す PTA の姿を記載していますのでぜひご覧になっていただきたいです。

令和7年度 PTA 会長 自己紹介

山崎小 PTA 会長を務めている常盤と申します。

令和6年度、初めて会長に就任し、今年度で2年目となります。

3年前に野田市に越してきました。子どもは4人いて、山崎小には4年生の娘、1年生の娘が通っています。

よろしくお願いします。

私は PTA 活動をするうえで大事にしている考えがあります。ここにその一部を紹介します。

- 強制はしません
- PTA 加入・非加入で子どもを差別しません
- 人が集まらないなら集まった人でできることをします
- 「労働」「仕事」ではなく「活動」と呼びます
- ダメ出ししません、評価は「ありがとう」です
- 「何のための PTA？」を考え続けます

PTA の役割と目的

そもそも PTA とは

PTA (Parent-Teacher Association) は、親と教師が協力して子どもの健全な成長や教育環境の向上を目指す団体です。その歴史は20世紀初頭のアメリカで、子どもの福祉向上を目的に始まりました。

日本では、戦後の民主化政策を進める GHQ (連合国軍総司令部) の指導により、1947年に「家庭・学校・地域が協力する教育組織」として PTA が設立されました。当時の教育改革では、戦前の教育制度から脱却し、親と教師が対等に協力する新しい教育観が重視されました。これにより、日本の PTA は子どもの学びと生活環境を支える重要な役割を担うこととなります。

PTA の活動は、教育環境の改善、安全対策、地域社会との連携、保護者間の交流など多岐にわたります。

山崎小 PTA の理念『令和の PTA』

戦後、GHQ の指導によって組織された PTA は、昭和の時代背景を前提とした考え方が色濃く残っています。しかし、現代では共働き世帯が増え、活動そのものがやりにくくなってきたり、負担になってきたりしています。

子どもの健全な成長や教育環境の向上を目指すという基本理念はそのままに、組織や活動の形態を現代にあったものに変えていく必要があります。

山崎小 PTA は『**できる人が、できるときに、できることを**』進めていき、**令和の PTA** を目指します。

PTA に入る意味とは

子どもたちのために、できる範囲で関わる『意思表示』

大前提として PTA は任意団体です。極論すると、あってもなくても、どちらでもよい団体です。実際、近年では PTA をなくしたり、形態を変えたりするところも出てきています。

子どもたちのために何かをやってあげたい、そう思う保護者は多いでしょう。個人はもちろん、なんらかのグループのようなかたちでそれを実現することもできます。日本においては、良くも悪くも“PTA” が浸透しています。単位 PTA なら学校に、市区郡 PTA 連合 (または連絡協議会) ならその自治体に強い働きかけができる組織として認識されているとことの意味は大きいと考えます。

山崎小 PTA の活動ビジョン

何よりも子どもの安全に寄与できる活動をすること

子どもたちの安全が脅かされるようなことは、私たち保護者ができるだけ排除してあげたいと考えています。例えば、山崎小 PTA には安全指導部があり、部員の方たちが主導して登校時間帯の旗振りと安全パトロールを実施しています。

運動会のときの校内外見回りや、学校で開催するイベントの入場者確認なども行っています。

山崎小 PTA の活動ビジョン

子どもたちが「体験」「体感」できる活動をすること

学校では、先生方が日々試行錯誤しながら、子どもたちにより良い教育を提供してくださっています。PTA が、子どもの心や身体を育むような活動ができると素敵です。

子どもたちが1年生〜6年生の間に体験・体感することは、彼らの今後の人生に大きく影響を与えるものです。友達と協力して何かを成し遂げる体験ができるようなイベント、心を揺さぶるような体感ができるイベント。そんな企画をしていきたいです。

昨年度の主な変革活動

PTA ホームページの開設

令和6年度の早期に山崎小PTAのホームページを開設しました。

ホームページでは、単位 PTA の活動、外部団体や上位団体との関わり、会長としての活動、各種文書の掲載、安全指導の旗振り当番表やマニュアルなど多くの情報を掲載しています。

PTA 会員かどうかにかかわらず、山崎小PTAがどのような組織なのかを広く知っていただくための、本来的な意味での広報活動が目的です。PTA 非会員の方が加入していただけるきっかけとなったり、他校の PTA の参考にしていただいたり、活動の透明性を高めることも目的としています。

安全指導活動のデジタル推進

安全指導部の主な活動は登校時間帯の旗振りと、パトロールです。

学区内の旗振り場所ごとに分けられている班では、情報伝達のために回覧板が使用され、横断旗も順番にまわしていくかたちでした。これには、班長が全会員世帯の自宅住所を把握してまわす順番を調整する必要と、各世帯が次に渡す家を把握する必要があるものです。

- 当番表をホームページに掲載 (閲覧パスワードは必要) し、回覧板をなくしました
- 横断旗を各家庭にひとつずつ配布し、まわすことを不要にしました
- 日誌をオンライン化しました

専門部・専門委員会・係の廃止

かつては多くの専門部や専門委員会、係が存在していました。いまとなっては、設置された背景や経緯を知ることはできませんが、おそらく、多くの PTA でもそうであるように「一人一役」の考えかたがベースにあり、それだけの受け皿を持っておく必要があったのだと推察しています。

コロナ禍ではこれらの専門部・専門委員会・係は必要最小限の活動にとどまりました。その結果、これまでは毎年引き継がれてきていた情報が断絶しました。それらを復活させようと思えば復活させることもできたかもしれませんが、それぞれの活動内容を見るに、令和の時代に合わないこと、持続可能な PTA となっていかないことが想像できたことから廃止を決めました。

会計の扱いの精査 (段階的実施、現在も継続中)

「一般会計」と「特別会計」のふたつの会計処理に沿うように、複数の通帳で管理されていた PTA のお金を集約しました。

また、PTA 活動をするうえで毎年定常的に発生する支出は一般会計を基本とするよう会計予算の割り振りを変更しています。

ボランティアとサークル

山崎小に関係するボランティアは3つありましたが、現在は2つです。

1栽培ボランティア　　2図書ボランティア　　3ハンドメイド協力隊 → 解散

組織上は PTA とは別の独立した団体として認識されており、活動の調整も学校と直接行われていました。各団体には PTA 会員も参加しているものの、実質的な運営権限は主に OG が握っており、加えて PTA から各ボランティア団体への資金支出も行われているという実態がありました。

しかしそれは、PTA 会員の意思が十分に反映されておらず、私は会員からお預かりしているお金の使途や、その背景・経緯を納得のいく形で説明できない状況に疑問を感じていました。

こうした問題意識のもと、PTA会員が自分たち自身の意思で、子どもたちのために主体的に活動できる枠組みを整えたいと考え、「サークル」という仕組みを導入するに至りました。

学校運営にかかるコストの支出適正化

山崎小PTAが名実ともに「任意加入」の形態を確立したことにより、加入率は必ずしも100%に至らないことが想定されます。結果として PTA 最大の財源である会費収入は減少し、それに伴って活動全般や学校への支援に充当できる予算は縮小せざるを得なくなります。

PTA が学校運営費の不足を補填し続けると、自治体の予算配分が十分に行われない懸念が生じ、結果として学校現場はさらに PTA に頼らざるを得なくなり、悪循環を生みます。他方で、会費収入が減少すれば、もはや学校運営にかかる費用を補填し続けることも困難になります。

単Pとしては市P連に「学校運営とPTA活動の持続可能な在り方を求める要望書」を提出しました。そして、市P連から野田市または野田市長に対して要望書を提出するよう強く求めています。

学校運営とPTA活動の持続可能な在り方を求める要望書

野田市立小中学校PTA連絡協議会 御中

拝啓　陽春の候、貴会におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、PTA活動にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、私ども山崎小学校PTAでは、令和7年度より「任意加入」という本来の制度趣旨を遵守する観点から、以下の取り組みを進めてまいりました。

- 個人情報取扱規則・個人情報保護方針の整備
- 学校に一部業務を委任するための業務委任契約書の締結
- 入会届・退会届の整備と周知徹底

これにより、山崎小学校PTAは名実ともに「任意加入」の形態を確立し、各保護者が自らの意思に基づきPTA活動に参加できる環境を整えております。しかしながら、この取り組みを正しく実行した場合、加入率は必ずしも 100%に至らないことが想定されます。結果として、PTA最大の財源である会費収入は減少し、それに伴ってPTA活動全般や学校への支援に充当できる予算は縮小せざるを得なくなります。

従来は、PTAが学校備品の購入や学校行事の補助など、学校が本来負担すべき費用の一部を賄うケースが散見されました。しかし、以下の懸念がございます。

- PTAが学校運営費の不足を補い続けると、自治体の予算配分が十分に行われない懸念がある
- 結果として、学校現場はさらにPTAに頼らざるを得なくなり、悪循環を生む
- 他方で、PTAが名実ともに任意加入となり、会費収入が減少すれば、もはや学校運営費を補填し続けることが困難になる

このような状況が進行すれば、学校運営における予算不足が顕在化し、教育環境の充実が阻まれる可能性もございます。本来、学校運営に必要な費用は自治体予算の中で確保されるべきであり、PTAはあくまでも保護者の自主的な活動を目的とする組織です。今後、各小中学校PTAが真に「任意加入」を実践する流れは加速するものと思われますが、その際にPTAに過度な財政的負担を求める構造が放置されれば、各校の教育活動にも大きな影響が及びかねません。

つきましては、野田市立小中学校PTA連絡協議会に対し、下記事項につきまして強くご要望いたします。

1. **学校運営費（備品費・行事費等）の適正な予算確保**
   PTAが学校備品や学校主体の行事費を恒常的に補填する必要が生じないように、野田市立小中学校PTA連絡協議会から野田市へ、十分な予算を割り当てる方策を検討いただけるよう働きかけをお願いいたします。
2. **市の教育行政とPTAの役割分担に関するガイドラインの明確化**
   各学校がPTAに負担を求める際の線引きを明確に示すガイドラインの作成、また、必要に応じて当事者間の協議の場を設けるなどの仕組みを構築していただきたいと存じます。
3. **「任意加入」実現後のPTA活動維持への支援**
   PTAの財源が大幅に減少することが見込まれるため、保護者主体の自主的な活動が継続・発展できるよう、必要なサポートや制度整備を行ってください。
   特に、PTAが実施してきた「学校支援的な活動」(例：学習イベント・卒業生への記念品等)が自治体予算や寄付等でカバーされるような仕組みづくりも検討いただけるよう野田市や関連団体へ働きかけをお願いいたします。
4. **PTA活動の本来の目的と「親と子・地域を結ぶ」存在意義の再確認**
   PTAの本質は「子どもたちのために、保護者・学校・地域が協力して教育環境をより良いものにしていく」自主的・自発的な活動であることを尊重していただきたく、野田市立小中学校PTA連絡協議会および野田市にお願いいたします。

私どもは、今後とも子どもたちの健全な成長と学びの充実を願い、PTA活動に尽力してまいります。しかし、それを継続的に支えられる体制を整備するためには、自治体および上位団体（市P連）からの適切な働きかけと支援が不可欠です。野田市の教育行政と各校PTAが協調し合いながら、負のループを断ち切り、より健全で持続可能な仕組みを確立するために、ぜひともご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げ、書面にて失礼いたします。何とぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

令和7年3月26日

野田市立山崎小学校PTA
会長　常盤　臣

市P連主催のバレーボール大会を打ち切り

野田市立小中学校PTA連絡協議会 (市P連) が主催するバレーボール大会は毎年恒例となっており、昨年度は第49回大会を開催しました。

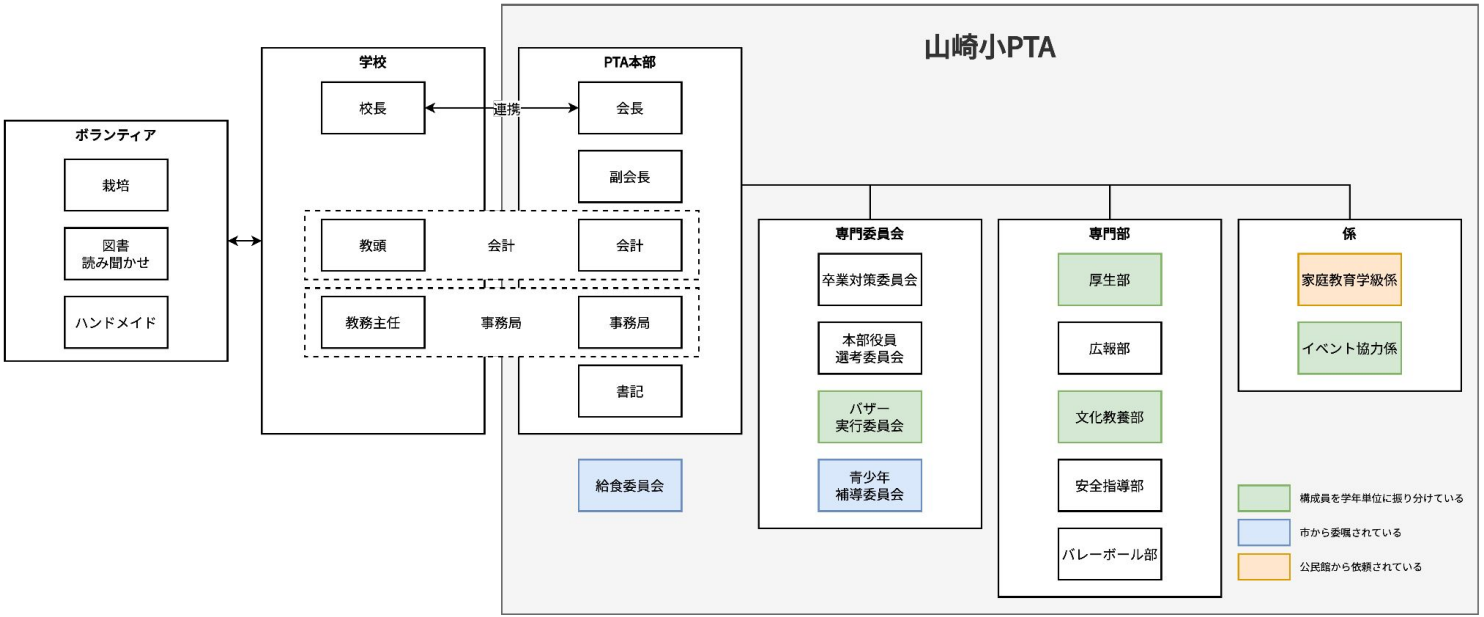
市P連は幹事が輪番で、昨年度は南ブロックが担当でした。南部小PTA会長が市P連会長を、山崎小PTA会長である私は副会長を務めた年でした。かつては参加校も多かったのですが、近年は合同チームを組んだり、OG を入れたりしなければチームとして成り立たない PTA も増えてきました。

そうすると、近い将来、大会開催そのものが危ういことが容易に想像でき、かつ「自校 PTA はチームが不参加なのに大会運営はしなければならない」という状況も現実となりつつあります。

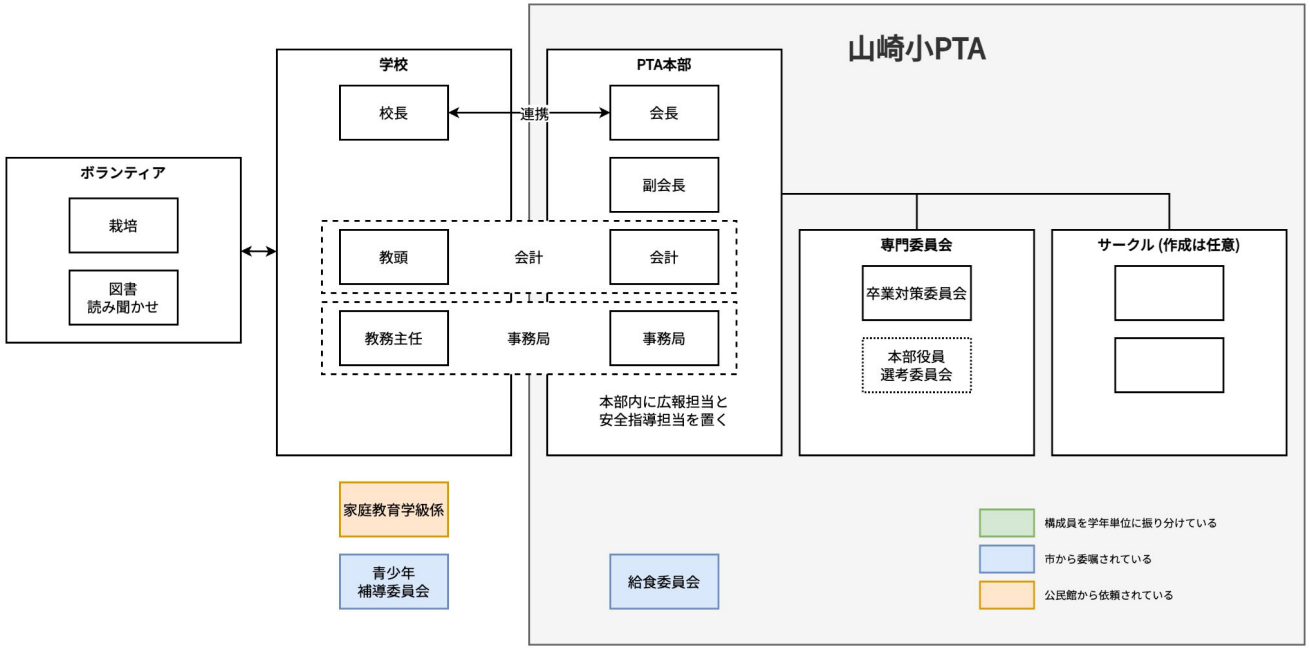
そこで、令和6年度中に打ち切りの方針を出し、5月10日の総会で審議されることとなっています。

山崎小 PTA のいまとこれから

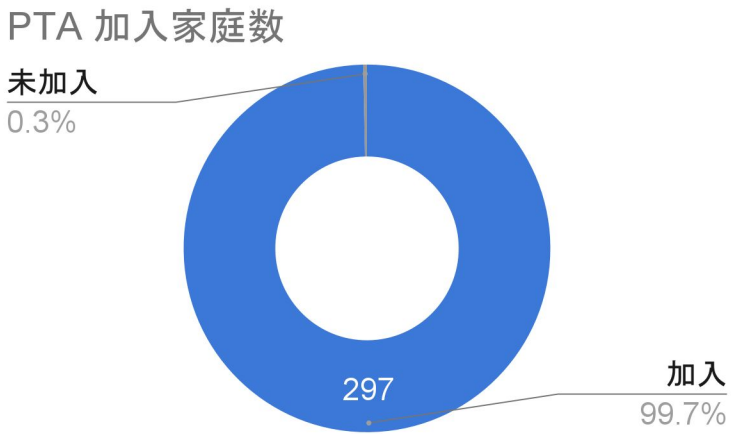
組織図 (令和6年4月時点)



組織図 (令和7年4月時点)



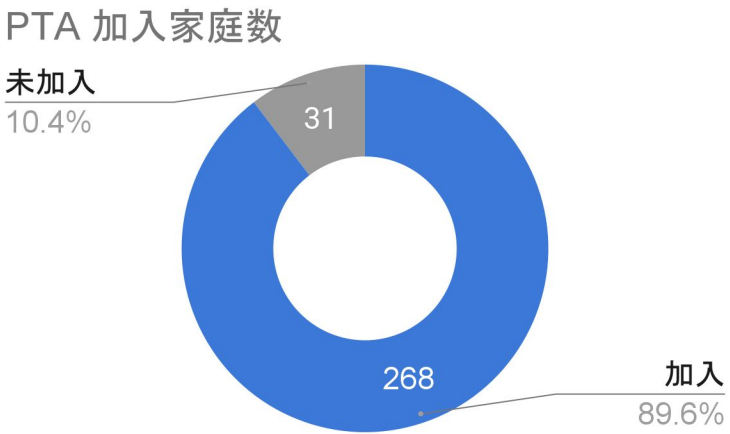
加入状況 (令和6年11月時点)



令和6年度まで、山崎小 PTA は入学と同時に PTA に加入していただく仕組みとなっていました。令和6年度にこの制度を見直し、令和7年度より新1年生として入学するご家庭には「入会申込書および個人情報取扱い同意書」を提出していただくこととなりました。

退会届もご用意しています。いずれの書類もホームページよりいつでも取得いただけます。

加入状況 (令和7年4月時点)



令和7年度の新一年生より入会届の提出をもって山崎小 PTA に加入するように変更しました。今年度は名実ともに任意性を重視した最初の年度となります。

LINE WORKS の導入検討

PTA 本部から保護者や会員の皆さまへ情報を発信する際には、学校に協力を依頼し、紙媒体での配布やマチコミ(現在は LINE スクール連絡帳) を活用してお知らせしてきました。

ホームページ開設後は、問い合わせフォームを通じてご意見やご質問を受け付ける仕組みも整備しました。

さらに昨年度より、一部で試用していた LINE WORKS を本年度から全会員に開放し、情報共有をより簡単に、より便利に進めていく計画です。
LINE WORKS は山崎小 PTA のメンバー限定の環境とし、広報誌に掲載しきれなかった写真の限定公開や、活動に必要な有志メンバーの募集などに活用していきます。
また、旗振り当番日の通知や、パトロール日誌への入力を促す仕組みづくりも進めています。

目指すところ

私たち山崎小PTAが目指すのは、時代に合った、持続可能で“自発的に関われる”新しいかたちのPTAです。

かつてのPTAは、「全員加入・一人一役」を前提とした仕組みで成り立っていました。しかし、共働きや多様な家庭環境が当たり前となった現代では、その形が必ずしもフィットしません。

だからこそ、私たちは次のような姿を目指しています。

目指すところ

子どものために「できる人が、できるときに、できることを」

強制ではなく、自ら「関わりたい」と思える空気づくりを大切にします。活動の参加も、役割の引き受けも、“やりたい”という気持ちに支えられる関係を目指します。

任意加入でも活発な活動ができる仕組み

加入は自由。けれど、参加してよかったと思える価値があること。そのために、情報の透明化やデジタル化、有志の仕組みなどを整え、「関わりやすさ」を徹底していきます。

目指すところ

持続可能な PTA へ

属人化を防ぎ、誰が関わっても続いていく運営体制を整備します。過去の慣習にとらわれず、必要なものは残し、不要なものは見直す——そんな柔軟さを大切にしています。

子どもたちの未来につながる活動を

体験・体感・安心。子どもたちに残したいのは、大人が楽しそうに関わる姿です。その背中を、子どもたちはきっと見ています。

Q & A

以降に掲載の内容は新一年生保護者向けの説明会で使用した資料です

Q: 必ず PTA に入会しなければなりませんか？

いいえ。

PTA への入会は強制ではありません。趣旨にご賛同いただき、個人情報の取り扱いに同意いただける場合に入会いただけます。

「入会申込書および個人情報取扱い同意書」は入学時に配布する資料に同梱しています。また、ホームページからダウンロードし、印刷の上で提出することもできます。

Q: PTA に入会したら、活動に参加しなければなりませんか？

いいえ。

必ずしも活動に参加しなければならないものではありません。また、以前のような「一人一役」という考え方もなくしており、「できる人が、できるときに、できることを」という考えのもと、負担を少なく、そして自発的に活動参加できるような仕組みを作っていきます。

例えば、運動会の後の片付けはテントや椅子の片付けなどたくさんの力が必要です。昨年は気付いた方々が続々と手伝ってくださりスムーズに終えることができました。

このようなみなさんの気づきも PTA 活動のひとつです。

Q: PTA に入会しない場合に不利益となることがありますか？

いいえ。

PTA に入会しないことを理由としてお子さんが不利益を被ることはありません。PTA という団体による活動は、対象となる学校の全児童に対して行われます。「誰が会員家庭の子どもで、誰が非会員家庭の子どもか」という区別はしません。

一方で、活動に協力いただいたり、会員であったりすることに対して特典・メリットとなることは実施していこうと考えています。例えば、広報誌掲載用に撮影した写真のうち、紙面上掲載ができない写真については会員向けに公開することを検討しています。

Q: 専門部や専門委員、係とはなんですか？

PTA という団体が、年間を通して継続的に活動したり、大きなイベントの企画や運営をしたりすることを前提につくられている組織上のまとまりのことです。

児童数や家庭数が多かった時代は、PTA 活動も多岐にわたっていました。その中で専門部や専門委員が組織され、あらゆる活動を進めていました。令和7年度以降は専門部や専門委員、係を整理し、縮小していきます。

Q: PTA での個人情報取り扱いはどうなっていますか？

ホームページでは次の文書を公開しています。

- 山崎小学校 PTA 個人情報取扱規則
- 山崎小学校 PTA 個人情報保護方針

また、一部の PTA 業務は学校との連携が必要です。そのため、山崎小学校 PTA と山崎小学校の間で業務委任契約を締結し、PTA 業務の一部を学校に委託しています。

Q: 入会や退会の手続きを教えてください

山崎小 PTA ホームページに入会と退会の用紙を公開しています。

- 山崎小学校PTA 入会申込書および個人情報取り扱い同意書
- 山崎小学校PTA 退会届

用紙に記入の上、担任の先生にご提出ください。

ぜひご入会をお願いいたします

昨今の報道や記事、SNS によって PTA のネガティブな部分が取り上げられています。たしかに、昭和の時代につくられた PTA とその活動内容は、良くも悪くも伝統や前例踏襲として引き継がれてきました。

しかし、山崎小 PTA は変わろうとしています。

私たちは PTA の理念を大事にしながらも、やり方を変えます。理念とは **“なぜ”** やるのかを表しているだけです。**“なに”** を **“どのように”** やるのかは私たちが決めていけるのです。

子どもたちのためにできることを、一緒にやりませんか？